（十二日夕刊）
休刊　大祭日第一第三日曜
定價　一部二錢　一ヶ月六十錢　郵税十五錢
廣告料　壹行六十錢指定廿錢增
發行兼編輯印刷人　蓮沼龍輔
福島縣平町田町十六番地
發行所　磐城新聞社
電話五六四番

思ひ出草 (31)

哲

古いスクラップブツクから

※……俺が村……六……※

湯本の巻

□□□□□□□□□□
婦人科・佐波古博士が
□□□□□□□□
苦學一貫の勉學（上）

スキー場と子どもが出來るのを賣ものにしてゐる所、色の温泉ではないが頗る人材を產の湯本温泉といふ所から比佐代議士を出した、大正十三年から中一年たいて十五年の五月に婦人科の醫學博士佐波古直明氏を出した、即ち年代記からいつて比佐代議士の次ぎに擧げるべきだが前回の八木澤博士とは從兄弟の間柄でもあり且つ共々杏林方面に似た樣なプロセスを辿つてゐるので便宜上こゝで一席伺ふ事にする、さて物の書に「祖先以來連綿たる古家なり」と記された縣社温泉神社社司の家の長男として生れた博士の卵は幼弱可なり丈夫で育つたらしい、發に數葉の白を盛いた廣島市山陽院長の佐波古博士當時を追懷して曰く「小學校時代には成績の良かつた割合に操行點が良くなかつた、自分では左程にも思はなかつたがお々で當時の某先生に遇つたら君の小學校時代は中々きかなかつたといはれたよ、雀百まで踊り忘れずの筆法で今でも暇があればラケットを振りまはす位の元氣は大ありさ」と來たもんだ、高等三年の時に柔らい母親に死別したのでこの事が精神的にも物質的にも非常な打撃となつたらしく今でも快活な一面處女の樣に極めておとなしい處のあるのは當時境遇の激變によつてつちかはれた第二の天性とでも見るべきであるまいか、斯くして母親を失つた南朋少年はその年に出來た磐城中學に入つたが殆んど婿樣になる樣な圖体をした高等卒業の年長者に伍して行くにはなみ大抵の骨折りではなかつたそうである四年五年は特待生で進み卒業の年二高三部の試驗を受けたが新設中學の卒業生として上級學級の受驗に適合する樣な敎育を受けてなかつたので其の年は失敗に終つた而も十名位の志願者中僅に一名だけが二高一部に合格したに見ても當時の試驗地獄が如何に血みどろなものであつたかを想像して呉れ給へと當人が述懷した事がある翌々年の三十七年になつて二高へ入學したが當時恰もある事情のために家運衰微として振はずおまけに祝融子の見舞を受けて全財産は烏有に歸したそんなこんな學業の方も思ふ樣に行かなかつたが但し劍道の方では同校の選手に拔擢せられ生徒乍らに助敎はつて天晴れ劍士氣取をしたものであつた京都の大學へ入る頃から他方面の應援を仰いで卒業後二ケ年に及ぶまで三千圓の借金をし後年すつかり之を返濟してしまつた事は育英會その所謂成功者のとして以模範とすべき點である。

大學在學中は授業料と被服費だけを父に仰ぎ他は月々恩借の十圓で生活したといふから他の學生の如く祇園に白粉の香をかゞさる樣な事が出來なかつたのは勿論で相當苦學したものといふ事が出來よう、以上は大正五年佐波古博士が京都大學を出るまでに嘗めた創苦精勵振の大体であるが卒業後引續き大學附屬病院の副手助手時代にも可なり慘膽たる苦楚をなめたものであるらうな、若しそれ直明博士かるもの父祖の業たる神官をなつていまの聽診器持つ手に何とかやらの「みてぐら」を捧げ水產工業のモーターサイレンの樣な妙音で神樣をお呼び立てしたりなどして今にたよんだなら今日の禍福果して如何、叔父八木澤辰致醫師の感化などあつた故か敬神崇祖の精神的敎化國致の事業から勞をメスに持ち替へて肉体的方面で人間救濟の途に精進した事盖し今日の大成せる結果かと觀て以、また賢明なりしといふべきであらう、それにしても從兄弟同志で八木澤博士は耳で學位を得佐波古博士は婦人科で學位を得たといふに至つては場所に上下の別こそあれ何れも穴で博士になつたといふ勘定聽き樣によつては人類學者か考古學の學者でもあるかの樣に鳥居龍藏博士などの仲間と間違はれそうな話である

秋戯帳

晚霞先生に　忠夫

久方の秋とすがしみ吾がごとく瘦せたる鯉を君にたてまつる

○

かへし　晚霞

身知らずの柿おほかたは甘けれど澁きもありぬ甘きをまいらす

──（今月今日）──

△アトルフス感化組合を創設す、近世慈善事業の前提をなしたものである（紀元一、三八一）△小野道風歿す書道の大家未だその室に達せぬ時一日小蛙の柳枝へ飛び付かんとして奮闘努力遂に目的を達したのを見て發奮したの逸話は世人の知る處である△和田義盛の餘黨滅亡す（建保元）△三千年の埃乃エ首ツタンカーメン王のミイラ發掘さる（大正一四）

新聞記者たらんとする中學生へ（附必要な性格）

（下）

早大新聞研究室學生　齋藤昌武

けれど困難に勝ては勇ましく出る我より進んで見んとする若き同盛確信を以て行きつまれる新聞界へ進め進む心に勇氣あらば何事も出來んたゞ前にも述べた樣に自己の個性と、その新聞界の復雜さに適進せんとするまのは大いにやるべきでおがたゞし困難復雜なるだけあつて青年の活舞臺でではその復雜なる岐を研究とする早稻田大學の新聞研究室は今先張から現からも多くの難をあびつゝ、たゞかづてゐる勿論自みには新聞の思想的位置背點は研究中なるが故にこれを約すけれど我が研究室も學校の御用でもなく反働の助成でもない正し、新聞意識「學生の研究機關新聞心」をもつて、難をおびつゝも正しく進んでゐるそれだからみんなが研究せんとしてもいくらかのたすけになるであらう、編輯臨習室、圖書室等の中で小さいながら新聞プランの上に進んでゐるのであるその内容は言ふべきでない

たゞ自分はこゝで新聞志願の諸君が中學生にあらばその研究態度を正し、決定すべきと神經過勞者としての新聞記者志願が困難なだけけつしてたやすくない、けれども其だけ面白い批評を超越してゐる新聞界へ進もうとする活躍人に學生をして同輩として忠告に及び次第である左に新聞人の必要な性格を若輩の主觀によつて列記せん

(1)神經過敏なこと
(2)先進的努力の必要
(3)茶目氣分の必要
(4)中に自己の内容を見せぬ落つき
(5)何でもすききらいのないこと
(6)體格のよいこと
(7)主張のあること
(8)社交のうまいこと
(9)馬鹿になり得る人
(10)たゝかれても起き上り得る人
(11)社會上のたんでいたる必得
(12)見聞をすぐ書き得る人
(13)男にも女にも政治家にも時々應じ得る人其他（八方美人ではないが）

拈華微笑

◇東京仙臺へ三時間。電柱が格子に見える時代がやつて來た

◇上級生は驅けるに憫い。微苦笑禁じ得ぬ[illegible]がありそう

◇月謝が縱かなくも學ばせねばならぬ親の苦衷

◇ギラリと物凄い德家の寶刀を列べたら不景氣神が逃げぬか知ら

◇若鼠盛死に隱三井の礦跡に佇み低徊去り兼ねた殿樣連

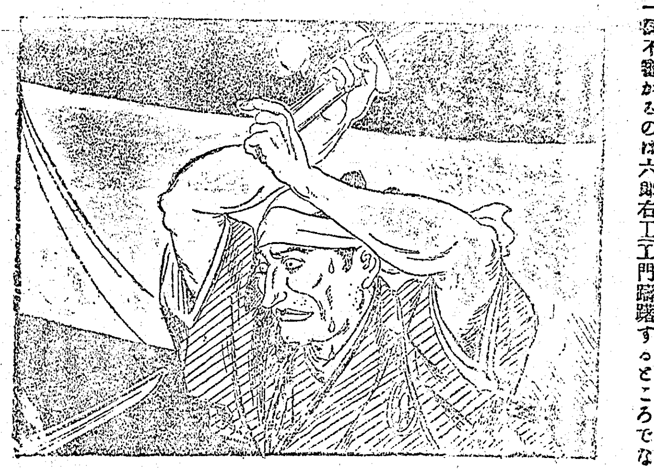
◇……◇

講談　赤鞘安兵衛

東京　桃川燕二演　村田月光畫

（九九）

劍術……而も時の勝負の場合に外の事を思つて居る樣だからゆとりがある、庄左エ門の方は一生懸命、此時六郎衛門何思ひけん、サツト右手に隙を見せた、庄左エ門此處を外してはと──「ヤ、ツ」と打込んで來る、パチリ受止めたかと思ふとパツと木劍を投出した六郎右エ門が──「合打らツ」庄左エ門は疾うに木劍叩き落されて居るが、何とも云はない、折角の立派も只の一合、勝負が付いたので、其の呆氣無さつたら無い、元來六郎エ門は誘いの隙を見せて打込んだならば相手にするつもり、一ゝには師範役の顔を潰しては氣の毒、又一つには跡に恨みを殘させるのも詰らぬ事と思つたゞけに穩當な考へをもつて相打ちとでたのでございます、併し力の籠つた大太刀にモロに受けては堪つたものでない、其處で態と中柄に受けて其儘小手を打返したのでございます、酷くは打たなかつたが腕ゝ節の所は恐ろしいもので庄左エ門ビリ〳〵……電氣にうたれた樣に身體中の筋が一時に釣上つた、六郎右エ門は──「相打らツ」と叫んだが庄左エ門は間誤〳〵してゐる、遙かに左京太夫殿此の休を御觀になつて！「六郎右エ門、相うちと申したがうたれた處を見ぬ、如何致したものだ」御翁習は──「左樣で、拜見しましたところでは菅野先生うたれた樣でありませぬが、當人相うちと申すからには大方うたれたのでございませう」一同不審がつて居る一同不審がるのは六郎右エ門がうたれたのではあるまいと思ふのだが庄左エ門はアベコベに──「えゝ手腕はうたれましたか」……「左れば、うちたればこそ木劍をホロリと投出しにならつたのであらう」……「成程、然う云はれゝば手がり〳〵致した、併し今日は席順定めの試合、相うちでは同席上下がない、今一つ勝負を願つて席順を定め度[illegible]、是非一試合」是れを聽いて六郎右エ門呆れ返つた扨々愚な奴があればあるもの、劍道師範の役でこそあつて見れば、互に位取りをすれば優劣の判る筈、我等勝たんとすれば何時でも勝てる惰をもつて相うちにして遣はしたのが判らんか、斯樣なものが御指南役とは敎はる者こそよい災難……餘りの事に庄左エ門の顔を見つめて返答がない、此時左京太夫殿お聲高く「唯今の試合は物足りぬ、六郎右エ門躊躇するところでない速やかに勝負を付けい」との御沙汰全く物足らぬに違ひありません、斯うなつては六郎右エ門致し方がない其義ならば最早や用捨はならぬ、誰だつても腹が立つ「仰せに從ひ今一手お相手仕る」双方一足下つてピタリと着ける、六郎衛門は今度はうち込む積りだから中段に取つた、庄左衛門は相變らず上段──「ヤツ、ヤツ」矢聲を掛けてジリ〳〵シリ前へ進む前には相打ちの積りだが今度は勝除に出た、素より段違ひの劍術、庄左エ門うち込まんとしても少しの隙もありませぬ、睨み合つてゐるうちに庄左衛門額際から油汗が流れる一足〳〵と跡ずさりになつて來た、大上段に振冠りながら跡ずさりになる杯は隨分ざまが惡い、見て居つた舍弟の三郎衛右門「困つたものだ兄貴は何だつて二度の試合をしたのだらう、立合つて見れば先方の腕は大分判る、何うして六郎右衛門馬鹿には出來ない[illegible]の樣な名人が跡押ねに居るのだから、相うちで引退て來ればよかつたに、あツ大部太刀筋が亂れて來たな……」大天狗の三郎右衛門手に汗を握つて心配顔、其内に庄左エ門は白州の隅つこまで追詰められた、將棋なれば雪隱詰と云ふ格、最う後へ退る餘地はないフウ〳〵フウ〳〵出るものは荒い呼吸ばかり。

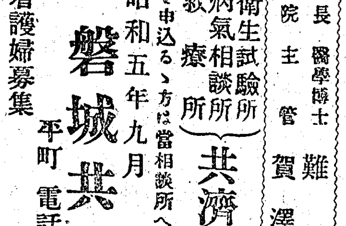


時局批判
社會問題
女政　政談大演說會
婦人も聽け……
聞け聞け熱と力の男女の血のさけびを!!!
◎思想國難　キリゲ懐に表裏を覆ふヘナチヨコ代議士の巧言には非ず
◎經濟國難　殺人的不景氣の諸難の惡魔的形相を……
◎就職苦難　老人の自殺夫婦心中親子友人の心中だ
◎衣食　同　來りて聽け!!!吾等の叫び
通俗演說だよくわかるコイ
中部婦選獲得同盟會幹事　大隅照美女史
中部婦選獲得同盟會幹事長　松村里子女史
婦選運動の闘士　吉田顯義君
自治擁護新聞主幹　竹内保君
中部婦選獲得同盟副會長　西村靜子女史
◎日時　十一月十三日午後四時
聚樂館

謹告
謹啓時下晚秋の候各位益々御盛榮の段奉賀候降て私事兼て藤市蒲鉾店に永らく相勉め居り候處今般魚清氷室隣に右營業を開店仕り候間多少に不拘何卒御贔負の程奉希上候
うむどん
そば　金五錢
なべやき　金十二錢
親子天丼　金二十錢
其他御望みに依り調理致します
平町二丁目　藤よし　加藤宇之吉　呼出三〇五番

ゑらが染　元祿（げんろく）
發賣元　株式會社朋友商會
△染色力……確實
△使用法……頗る簡便
△價格……低廉
定價……小瓶二五　中瓶三五　大瓶五〇
平町五丁目角　大阪賣店　山野邊藥局

十一月十三日　二十三夜樣（やさま）お供（そなへ）用
だんごの粉（こな）　一舛二十錢
糯（もちごめ）のこな　一舛二十四錢
平町土橋　マルマン商店　電話四八九番



皆樣の精幸堂時計
修繕部
000000000　共存共榮をモツトーとする　000000000
修繕料金　値下斷行
セーコー堂へ御用命の程願ます
平町土橋通り　精幸堂時計店

磐城共濟病院案内
本病院は時局に鑑み八月一日より入院料並に往診料左の通り低減致候間御參考迄申上候
入院料…一日　一般　金貳圓　本會員　金壹圓八拾
往診料…院長及其他の博士に限り　一般　金參圓　本會員　金貳圓　（平町内）
何地方往診料も之れに準じ低減致候間此段申添候也
（各科專門醫擔當）
内科　外科
小兒科
外科
皮膚泌尿科
整形外科
内臟外科
産婦人科
女子泌尿科
耳鼻咽喉科
X光線科
物理學的診療科
院長　醫學博士　難波睦
本院主管　賀澤忠治
◎一、衞生試驗所
◎一、病氣相談所
◎一、救療所
共濟病院内
●救療を申込まるゝ方は當相談所へ御話し下さい。
昭和五年九月
磐城共濟會　平町　電話六四一番
◎看護婦募集

東京仙台へ三時間で
打つ飛ぶ超特急
□□スピードアップに備へ□□
平驛中心に急行速度試驗

常磐線廻りの上野青森間は來年度から超急行列車一往復を運轉する計劃で本省運輸課では東鐵外關係局と協議の結果スピードアップの試運轉を行ふことになつた右試轉は上野、平間二百三十キロ餘りを來る十六日午後零時四十五分上野發翌十七日午前十時五分平發の二日間に亘り實施されることになつてゐる、この試運轉は七輌編成とし東鐵から岸運輸課長以下乘り込み一般客は乘せない、上野、平間の速度は仙臺發上り急行列車の現在四時間二十八分間かゝつてゐたのが、今回の試運轉では水戸で五分を停車しても尚ほ三時間一分で到着するから一時間二十七分短縮される譯で上野青森間は四時間と四十分短縮さるゝことゝなるのである、一方仙鐵局でも近い將來にたける本格の列車スピードアップに備へるため一般的相當安全率を取つた特急速度をもつて青森平間の線路試驗を實施すべく來たる五日客車十輌編成の上り臨時第二〇〇一列車を運轉

青森發前八時一分、尻内着同九、三〇半、同發同九、三四半、盛岡着同一一、二二半、同發後〇三六、一ノ關着同二、〇〇一五秒、同發同二、〇四一五秒、仙臺着同三、三六、同發同四、〇〇六、平着同六、四一

の試運轉を行ひ折返し下り第二〇〇一列車として翌十六日

平發前六、五〇、仙臺着同九、一五、同發一〇、一一半、一ノ關着同一一、四一、同發同一一、四五、盛岡着後一、一一半、同發同一、五四半、尻内着同三、四三、同發同三、四九、青森着同五、二二

の發着によつてスピードアップの成績を見ることとなつた

入營者送別
十七日縣社頭
清宴を張る

平町今年度入營者送別會は十七日午前十時から縣社子鍬倉神社前で開催するが出席者は約五百名と見られて居り送別者は三十名で所屬及入營期日は

一月十日入營（歩二九）小林隆雄、同深谷四三郎、同猪狩數三、（野砲二）井上榮市、（工兵二）鈴木勝好（近衛歩二）渡邊政美（鐵道二）野口武男、電信二）鈴木増雄、同金成章（飛行五）吉田爲吉（橫須賀機關）大江文吉、十日（橫須賀主計）小松良平、同石井勝之助、（水兵）大河原完、十二月一日（朝鮮砲二五）中野喜平、同大阿久三郎、（朝鮮七四）丸山義春、同兒山磐夫、同草野忠（滿洲鐵道）山崎安治、一月十四日（橫須賀主計）稻葉清（水工十四）堀井清（歩二九）鈴木田藏（砲二）引地定茂（歩二九）木村石三（看護卒三）岩瀬勇次（輕重二）湯淺兵一（歩二九）森清一郎（鐵二）遠藤一郎

投稿
投稿歡迎

學資償還規定

小學校教員過剩の聲は幾度か聞かされた、義務年限徹廢は識者の既に是認するところである、而も時代は自我の認識より自我擴充へまで進展した。小學校教員の生殺與奪の權は決して教育行政者の上にあるものではなく、それ自身にあるべき當然さを悟らねばならぬ

◇

さて質問の要點を申そうそれは現、本縣に於て、師

めて確實に而も、一點の爵量なしに最も勇敢に一方的意志の下に行はれつゝある學資辨償は合法的なりや否やである、勿論その内容は一般的の場合における辨償ではない、出向に伴ふ學資償還の事である、師範學校規定による學資辨償は

一、正當の事由なくしてこれが義務を盡さざる時

二、教員たるの義務に違背し又はその體面を汚辱するが如き者即ち懲戒免職に處せられ又は免許狀の失効若しくは褫奪の處分を受けたるにより服務事務を果すこと能はざる時

三、家庭の事情により服務義務を果さざるとき

に限られてゐる

◇

而も「情狀によりその一部の償還を免除」する必添すら規定されてゐる然るに縣外出向の場合は如何、右三項の何れにも該當せぬのみならず規定第六十四條には「特別の事情あるときは服務義務期間内にたいて地方長官の許可を受け他の國府縣、朝鮮、臺灣、樺太若しくは關東州において就職し得」更に規定後段には「前項の在職期間は服務義務期間と見做す」と明示しゐる即ち地方長官たるものが苟も川向ふを命ずればその地にたいて義務履行を繼續するや言を要しない、然るに縣當局にたいて出向辭令と交換に即座に（年賦納金すら許さず寔に即座）學資償還を强制する方法的依據如何内規は全般的規程の許す範圍に於て合法的なものである、縣に於て勝手に師範學校規定を更改し得ぬは明かである。自分は此の點責任ある當局者の確答を望む

（一青年教員）

家計の困難から
月謝の滯納續出
平第一第二兩校で
その整理に腐心

平第一第二小學校では近來生徒中完全に授業料を納付出來ぬものが多數生じつゝあるのでその整理に腐心してゐるが目下の處兩校の高等科全生徒三百五十人中總額二百五十圓の滯納ある狀態で月八十錢の月謝で割ると既に三百十二ヶ月分に當り一人平均にしてさへ約一ヶ月分近くの滯納で一部兒童の滯納にあつては一寸想像出來ぬ程度に溜つてゐる模樣である

全校一千名の健兒が
一萬四百米競爭
下級生が比較的好い
韋駄天振り

磐中生徒の校門出發谷川瀬由龍ヶ崎經由コースによる一萬四百米競爭は今十二日午前八時から行はれたが人員九百九十八名で八十分以内に到着せぬもの二十九名、棄權六名で

一着二年四組箱崎還平（四十三分二十六秒）二着三年二組桑谷正規（四十三分四十五秒）三着五年三組高橋三郎（四十四分一秒二十一）四着四年一組丹大正（四十四分二十一秒）五着四年四組柴田春規（四十四分二十八秒）

これが學年級別成績は二年四組、一年四組、二年三組、一年三組、二年二組、一年二組、三年二組、一年五組、三年五組、一年一組、五年二組、五年二組、二年一組、三年四組、三年一組、四年一組、四年二組、四年四組、三年三組、四年五組、五年五組、五年三組、五年一組、五年四組、四年三組、四年三組の順席で上級生より下級生が比較的成績良好であつた

入山自治會
慰安會を開く

入山炭礦全國勞働自治會では來十六日の日曜を卜し午

小名濱片濱
自動車協定
江口氏斡旋す

自動車增加に伴ふ事故頻發は各地とも今や一種交通難時代を現出しつゝある折柄平警察内片濱及小名濱路線に於ても競爭の結果往々事故の發生を見る場合あつたが今回堀江工業社長江口爲一氏の盡力により從來の各別發着所を全廢し新に平町四丁目と江名築港入口に共同停留所を設け更に協定賃金を値下げして交互三十分毎に發車しその間の競爭を避けるよう二十五日から實施することゝなり江口氏は今十二日午後七時から丸昌ホールに關係者及關係從業員を招待し晩餐會を催すと

二百七十件
檢擧件數
去月中の平署

平署十月中の檢擧件數は二百七十三件犯人百一名で內出火十九名、家屋侵入八名、誣告一名、賭博三名、詐欺五名、傷害四名、暴行二名、業務過失傷害四名、竊盜九十四名、科料六十八名、橫領三名、業務上橫領十二名、古物商違反十二名、銃砲火藥違反二名、文書詐欺八名

平町で
俳句大會
來十六日開催

石城地方俳句同好會の集りである平町萍生會高月會潮聲會冠聞十君會川前雪調吟の聯合主催に係る俳句大會は東京日々新聞社後援の下に十六日正午から平町マルトモホールに於て開催するが當日は武人にして俳人たる第二師團軍醫部長仙臺衛戍病院長龜井初九氏も出席する筈で尚ほ題は當日正午席上にて決定發表し席上吟互最高點者には東日メダルヲ贈ると會費三十錢出席多數に上る盛況である

平町工事入札

平上水道擴張工事は其後着々進行中であるが今十二日には十

面川氏再選
四倉商業組合長

四倉町商業組合では十日午後四時より四倉町一心亭に於て役員會を開催組合長面川總之助氏辭職申出につき後任詮衡の結果滿場一致面川氏の留任を乞ふ事に決定午後九時散會した

各秘藏品を持ち寄り
刀劍陳列會開催
廿三日から三日間
大家本阿彌氏臨席

磐城刀劍保存會では來二十三日より三日間平町磐城銀行樓上に於て刀劍陳列會を開催するが同會では本邦に於ける刀劍鑑定の大家本阿彌光遜氏が滯在同好者の鑑定その他指導の任に當る筈で鑑定、出品、即賣を望まるゝ向は二十一日限り二十日長谷川椅子店內の同會事務所宛申込まれ度いと

荒廢し切つた慘狀に
面を反けた視察團一行
研究會所屬のお歴々五名が
三井廢坑後の磐崎村藤原へ

研究會所屬の貴族院議員子爵土岐章、岩城隆德、米倉昌達、梅園篤彦の四氏及勅選湯地幸平氏の一行は既報の通り今十二日午後一時三十八分着下り列車にて湯本驛下車小泉湯本町長酒井磐崎村長其他地方有志多數の出迎へを受け水郡課長案内の下に自動車を驅つて磐崎村藤原に至り三井廢坑後の現狀を視察し四時二十三分湯本發平驛頭木村代議士、伏見町長代理遠藤助役外有志多数迎送裡に同四十五分平發磐越線にて郡山へ向け出發したが今夜は熱海溫泉一泊明十三日は午前九時郡山發十時三十六分福島驛着少憩晝食の上午後一時自動車て發し一時二十分信夫郡岡山村着視察二時二十分發三時梁川町着視察し四時半同地發五時飯坂溫泉着宿泊の豫定であると云ふが磐崎[illegible]視察した一行は廢城の如き藤原の現狀に面をそむけ地方民の窮狀に同情禁し得ざるものゝ如くであつたと

告訴取下げ
□□□□□□□□
婦女暴行解決す

大野村字八莖字片倉二十七番地居住栃木縣河内郡篠井村大字野三十二番地生れ土木業阿久津勇次（三六）は去る八月十五六日午後二時頃同八莖鑛

て取り調べ中の處同八日告訴取下げの手續に及びこの程四倉署を通じ穩事解決したと

低資申込
産組關係會合
協議

石城郡內產業組合では十六日午前十時から郡農會樓上で臨時總會を召集し漁農村低利資金借入に就て協議をなすが時節柄借入れ申込み多數に達する由

利用組合總會

石城販賣利用組合總會は十五日午前九時から郡農會樓上で開催借入金償還に關する件四倉繭市場閉鎖後に於ける經過報告等に關して協議する由

四倉署犯件數

四倉警察署に於ける十月中の犯罪取扱件數は件數五十四件、發生十二件、內竊盜四十件、署外十四件、詐欺十二件、署外四十二件、犯人數二十二名

身許や死因が解らぬ
老爺の死体漂着
推定五十位で乞食風
小名濱で假埋葬

小名濱海岸へ昨十一日午後二時頃五十歳前後乞食風の男の腐りかけた溺死體が漂着其筋から係官急行取調べたが身許死因其他判明せず一時同町役場で假埋葬した

明日の吉凶

舊曆九月二十三日
新曆十一月十三日

▲一白の人　歩調正しければ思ふ彼岸に達しえらるべし▲二黑の人　口舌は勿論のこと取引にも爭なき樣すべし▲三碧の人　人をせめず我をはらず心大なれば自ら無事▲四綠の人　一利をえて第二のりを夢みる事なく退べし▲五黃の人　自力本位を以て捗らぬと[illegible]らず進むべし▲六白の人　あり來りし業には支障なきも移轉旅行は凶▲七赤の人　位高ふして祿は少し高ぶれば更に損を招く▲八白の人　平凡無爲の內に自からめをふき出す日なり▲九紫の人　飲食さへ愼めば餘事は大抵都合よく行くべし

ネオンサイン

淺野總一郎翁が亡くなつて淺野の事業を後援するものがどうなるであらうか、と心配をしてゐるものがあるところが淺野の取り引銀行では淺野が死んだ方が却つて安心だといふので、そ點御心配なし、と云ふ變態的の狀態、何しろ淺野翁と來ては儲けるばかりで縮める事を知らぬと云ふ男、銀行の連中「たほかた閻魔王國で閻魔樣を相手に、またでかい事業でもやり始めることだらう」と話し合つてゐる。（河北）一見大ざつぱの樣な半面人一倍緻密な處があつた翁に對する觀察としてその全部を肯定出來ぬとしてもまた翁の性格が窺がはれる

芳醇無比

白[illegible]の雪

松本德一吟釀
平電話二八五

從來片濱路線ト小名濱路線ハ協定アレド殆ド競爭ニ陷リ爲ニ事故頻發各位ニ危險ト御迷惑ヲ煩シ誠ニ恐縮シテ居リマシタガ今回平警察署長並ニ堀江工業社長ノ權威アル御盡力ニ依リ從來ノ各別發着所ヲ全廢シ新ニ平町四丁目ト江名築港入口ニ共同停留所ヲ設置更ニ協定賃金ヲ値下シテ交互三十分每發車致サセ最モ安全親切ヲモツトートシ營業致シマスカラ一層御援助ト御活用ヲ切ニ御願シマス
尚減額シタル料金左ニ

平町
10錢
飯野堀割
15錢
中山石池
20錢
科明湯
25錢
滑津橋
30錢
沼內
35錢
薄磯
40錢
豐間
50錢
江名
60錢
中作

但シ一區間金拾錢均一トス
昭和五年十一月十五日ヨリ實施

平、江名間乘合自動車營業者

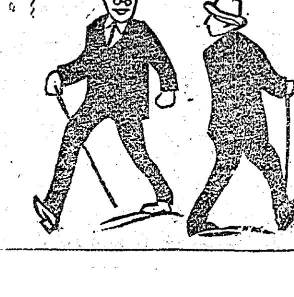
同窓會諸姉に謹告

十一月十六日午前十時恩師酒井ミヨ先生の銅像除幕式ヲ擧行シ午後一時ヨリ同窓會總會開催可致候ニ付御參集相成度謹告仕候也

昭和五年十一月十二日

平陽女學校同窓會

ヨウ
モーダン！
斷然三〇年型だナ
ドコの新調だい
コレハレイのソレ
正札堂さ
品は豐富　撰取り見取り
時代をリードす　のスタイル



秋とサロン
サロンの黑ビール
天高く
氣朗かに
美味にして
芳醇の
黑ビールを召せ

サロン
田町電話三五二番

夜間診療

胃腸
內科
十二指腸虫病
專門
內科部

梅毒
淋病
婦人病
皮膚病
專門
外科部

松村內科外科醫院
（平南町電話一〇七番）